

会長通信【その二】

昨日、私はある歌を耳にしました。そして今日、最初に讃美歌が 2 回歌われました。私は長老派教会の信徒で、この讃美歌は私の教会でもよく歌われます。私の言語で歌われますが、意味は「弱った魂のための避難所」。耐えられないほどの痛みに達したとき、癒しを得られる場所がある——そんな内容です。

YMCA の会議では、私たちが「何をしているか」「何を持っているか」について語られがちです。でもこの歌は、「私たちは誰か？」という存在の本質に立ち返らせてくれました。

聖書には何度もこう問われます。

「あなたは誰か？」

「あなたは何者だと思っているのか？」

分断された世界について語る前に、自分自身に問わなければなりません。私たちは誰なのか？と。

私は今、「世界 YMCA」として、日本 YMCA を呼びたいと思います。日本 YMCA とは誰なのか？今や、日本の YMCA は 35 のローカル協会だけではありません。すべてが一つとなって、1 つのユニット、日本 YMCA となったのです。

日本 YMCA のアイデンティティ。あなたたちは 145 年の歴史を持ち（1880 年創設）、34 の都市 YMCA と 35 の大学生 YMCA があります。あなたたちは強くキリスト教に根差した団体です。しかし、多元的な世界において、他宗教や信仰とも調和して共存しています。

メディアを通じて、日本で宗教対立があるという話は聞いたことがありません。これは日本という国が、他者と調和する方法を知っているからです。

今朝、私は礼拝に参加しました。日本語だったので理解は難しかったですが、心の中の声がすべてを伝えてくれました。私はあなたたちと深くつながっていると感じました。

分断された世界において私たちがすべきこと

私たちが取り組む「分断」は、たとえば鹿島アントラーズ vs 横浜マリノスといったスポーツの対決ではありません。もっと深刻な問題です。イスラエルとイランの核問題、ロシアとウクライナ、日本と韓国の歴史問題など、ダブルスタンダードが世界中に存在しています。日本 YMCA の皆さん、あなたたちが歴史と向き合い、過去の責任を引き受けているその勇氣に、私は深く感謝します。また、日本国内に存在する韓国 YMCA の存在にも敬意を表します。しかし、分断は国家間の対立だけではありません。人種、性別、世代、あらゆる領域にわたっています。

80 年前に起きた、ある出来事——何度も落とされた原爆。それによって生まれた災厄。

私はその写真や説明を見て、YMCA にそれがあったことに深く心を打たれました。

YMCA の使命：Encounter（出会い）、Connect（つながり）、Transform（変革）

Encounter（出会い）

出会いとは、殻に閉じこもるのではなく、世界の現実・痛み・希望と向き合うこと。

YMCA を「出会いの場」「希望を分かち合う場」に。

Connect（つながる）

聖書に登場する 12 年間病を患った女性が、イエスの衣に触れて癒された話。

YMCA が現代のイエスの衣のように、人々を癒せる存在に。

苦しむ人々に「癒し」「つながり」を提供する、それが YMCA の役割。

Transform（変容）

蝶のように変容し、美しい存在として羽ばたく。

急激な変化の中で、YMCA も変化に対応していかなければならない。